

日 時 平成23年 1月24日(月) 18:30～20:30  
 場 所 登別市市民活動センター 2階 D会議室  
 出席者(役員) \*関 修 大 山 口 光 男 平 田 和 弘 平 田 誠 治 関 川 昭 雄 参加者: 9名  
 高橋忍三 \*吉野良子 \*鎌田和子 佐々木幸彦 瀧川正義 (\*:欠席者)(敬称略)  
 木村義恭 田中寛治 第2回議事録作成 瀧川

## 審議・確認事項

### 1. 検討資料の説明 瀧川

(1) 検討準備資料 【出展元:「平成22年度登別市の仕事」「平成21～23年度 総合計画」】

平成22年度 登別市の仕事 総括表	…	2 頁
平成22年度 登別市の仕事 総括表(担当部署付き)	…	2 頁
平成22年度 登別市の仕事 分析資料	…	2 頁
平成22年度 登別市の仕事 部署別予算額 一覧表	…	4 頁
平成22年度 登別市の仕事 部署別・目標別 予算額 一覧表	…	3 頁
平成22年度 登別市の仕事 事業別 一覧表	…	11 頁
平成22年度 「登別市の仕事」と「総合計画」との事業比較総括表	…	2 頁
平成22年度 「登別市の仕事」と「総合計画」との事業比較	…	12 頁
平成21～23年度 総合計画の事業一覧	…	22 頁

#### (2) 検討内容の説明

出展元は「平成22年度登別市の仕事」と「平成21～23年度 総合計画」であり、登別市のホームページから参照した。

上記資料をもとに、各資料の概略内容を説明を行なった。

全体を把握した中で、内容の矛盾点の解消、分析をして改善につながる項目を選別し、検討を深めていく必要があることを説明した。

### 2. 審議内容

(1) 「分析資料」をもとに意見交換した。

検討資料の収集は資料開示依頼で出させる方法がある。

資料の整合性が取れていないところは、別の資料があると思われる。

勉強会の目的で、説明させてはどうか。

この3年間で、何度か事業内容を説明していただいたが、我々に問題があり、あまり身にならなかった。それこそ、独自に勉強し、質疑応答の意見交換でなければ意味がないと感じている。

事業の分析や比較などは行政側に頼んだほうが良いのではないかと。

こちらで分析しても、なんだかんだと言い訳される。行政が分析したのであれば相手も言い訳は利かないのではないかと。

業務改善の検討を行なうことは、慣習や規則に捉われない第三者が適当であることは既成の事実である。絶対に我々が行うべきである。今の行政側に意識があれば、資料内容が矛盾したことにはならないと考えられる。

自治推進委員会の位置づけ・権限が明確でないまま答申しても意味がないのではないか。登別市の基本条例「第28条」にはっきり謳ってある通りである。しかし、認知度が低く、権限も不明確と感じているのも事実である。

基本条例の改定は「合田さん」が企画委員会を立ち上げることになっているので、並行して作業を進めましょう。

これから実績を作り、認知していただければ良いのであって、実績も無い中から権利・権限だけを認めろというほうが虫が良すぎるのではないか。

「まあ、気張らないで、気楽に行こうぜ！」の精神で行きましょう。

最終的に何を目的に検討しようとしているのかの具体性が感じられない。

行政の業務の全体像を把握し、効果の大きそうなところから検討すべきである。400以上もある事業に対し、闇雲に個別の事業を取上げたら、埋もれてしまいます。

業務改善作業は敵対しあうケースが多いが、反発しあったら、とても難しくなる。

検討内容をもっと具体的に例えば「除雪問題」とか、はっきり誰もが判るところを検討すべきではないか。

市民の要望が大きいのであれば、個別に企画委員会を立上げ、検討を行なうのも良いと思う。大切なことは、苦情処理に留まらないで、「予算・実行・評価等」全体事業とのバランスを考え、持続性のある政策を提起することにあると思います。

## (2) 次回の検討内容

整合性の取れていない部分を補完するため、市役所で資料の存在を確かめてみます。瀧川まだ、検討項目も絞れていない状況ですから、次回も更新した資料で意見交換を行ないます。

## 次回 企画委員会開催予定

平成23年2月24日(木) 18:30～20:30

以上